

KSKQ バオバブネットワーク通信

VOL27

今年もバオバブと仲間のWAを開催します!!

2019年9月



2018年9月



2019年3月



2018年3月



ともに地域で いきいきと生きることの実現を



えるで



寒い季節❄️いつも元気なメンバーさん!👏!

活動で外に出る機会は減りましたが、屋内での活動や季節行事にメンバー・スタッフが協力し全力で取り組んでいます!

季節行事&郊外学習

この季節はイベントがいっぱい!

季節は『冬』。この時期、何をするにも足取りが重くなってしまう。そんな中、変わらず元気に活動に取り組むメンバーさん! そんなメンバーさんの楽しみの1つが季節行事。

12月は「クリスマス」1月「新年会」2月には「節分」3月の「ひな祭り」まで、冬は毎月イベントが盛沢山! みんなで料理を作ったり、創作をしたりと、行事を通して季節を感じています。

第2 えるで交流の機会は減りましたが、最近ではzoomを使いオンラインで会話を楽しまれ、お互いの活動を見ることができ、メンバーさんも喜ばれていました(^o^)

冬

イベント盛沢山!

クリスマス



節分



ひな祭り



八尾空港



竜倉神社



プチお出かけ(≧▽≦)

やっぱり外出はテンション上がります!

メンバーと行き先を決め出発! 目的地までのドライブもみんな大好きです。近くの公園や神社、ちょっと足を延ばして、八尾空港にも行ってきました。外に出るとメンバーは更にパワフルに(^ ^)v たまには気分転換♪

今は全員での外出はなかなか難しいですが、春の暖かい日には外でランチもいいですね、(^o^)

リフレッシュ出来たかな?



第2えるでで ございま～す!!

こんにちは第2えるです♪活動のひとつで、ボランティアの方が紙芝居などの読み聞かせをしてくれています。毎回違う作品を読んで下さり、メンバーもスタッフも楽しみにしています。スタッフも負けじと読み聞かせをしているとだんだん上達してきました☆私たちも日々頑張ります♪



暖かい日には外に出て、日向ぼっこをしました。外はお日様が出ていて、外の空気はとても心地よく、メンバーのみなさんも笑顔いっぱいでした。時間を忘れてしまいそうでした♪

法人本部コーサー

○緊急事態宣言が発出されるなかでも、感染対策を十分にしながら理事の相互連絡や書面理事会等を実施し、後援会役員会とも連携を取ってきました。今回は、これまでの法人の活動を具体的に伝えていきたいと考えます。また、3月15日に開催される第89回理事会で、正式決定される内容も事前にお知らせしたいと考えます。

3月末で、**コロナ対策基金**の受付を終了します！！ 本当にありがとうございました

前回の「ねっとわーく通信VOL27」にご紹介させて頂きました寄付者のご芳名に加えて、3月末までに基金に協力して頂いた方々は次の通りです。

谷岡司法書士事務所谷岡 康男	辻 厚子	三田 恭子	島 善信
良原 恵子	今井 真知子		(敬称略)

基金総額は、8、218、468円になりました。支出の総額は7、414、583円になりました。理事会で、決算の承認を受け、残金は次年度の対策費としてプールしていきたいと考えています。

今後も継続して維持管理費が必要なものは次の通りです。

I 臨時ホーム「虹」の賃料及び水	光熱費
II 臨時ホーム「陽」の賃料及び水	光熱費



概算で、一月150,000円で、年間18,000,000円の維持費が必要となります。大阪府新型コロナウイルス感染症緊急対策包括支援事業補助金でカバーできる支出をやりくりし、基金の残金との合算で維持経費を確保していきたいと考えています。

そのような見通しのもと、**コロナ基金募集終了**を決定します。

臨時ホーム「陽」につきましては、松原市消防局検査及び松原市福祉指導課点検が終了し、いつでも「緊急ショートステイ」の事業所として開所できる準備も整いました。

当面は、コロナ感染対策施設として活用し、その後は通所メンバーの緊急事態や市内在住の障がい者の緊急対応事業所として活用していきたいと考えています。

これまで、ご協力をいただいた後援者・並びに地域の人たちに感謝申し上げます。

芝池じゅんあい薬局（本法人元理事）より

マスク・消毒液をいただきました！！



2月22日（月）に、本法人の元理事 芝池 淳さんより、大量のマスクと消毒液をご寄付頂きました。

これまでも、マスクが入手困難な時期に、医療用マスクを集めて届けて頂きました。今回のマスク・消毒液も大切に活用し、ご厚意に報いたいと思います。

法人本部移転作業が完了しました！！

法人本部がグループホーム「東風」2階

(松原市南新町3-8-23)に移転しました

2021年4月より、業務を開始します。

11月30日、社会福祉法人パオバブ福祉会第88回理事会で承認された内容は次の通りです。

提案理由

田井城に生活介護「えるで」、一津屋にホーム「ひとつ星」、及び南新町にホーム「風」「空」と生活介護「第2えるで」・相談事業所「いこな」「えるでヘルパーステーション」と大きく2カ所に分散している状況であり、加えて、登記上の法人本部が「えるで」にあることにより、各事業所間の調整連絡に手間取ってきました。

この体制のもと、コロナの緊急対応において全事業所一丸となって対応に当たる準備の遅れを生じさせたと考えています。

その改善のために、法人本部体制の確立と各事業所の体制の整備をすすめることが急務です。

この状況の解決のためには、根本的には法人本部の南新町移転が必要であると考えますが、法人本部の移転には法人定款の改正が必要であり、評議員会の承認事項であるために、次回の理事会・評議員会に提案していきたいと考えます。

当面できる改革を優先して、12月から取り組んでいきたいと考えます。

1. 法人事務局長選出と法人事務局体制確立及び法人経営（管理者会議）と事業所運営（サビ管会議）の分離する体制を確立する。
2. 各事業所の体制を整備し、法人の勤務歴が短くても力量のある職員を経営参画を積極的にすすめる体制を確立する。

法人本部の移転には法人定款の改正が必要であり、評議員会の承認事項であるために、3月15日、第89回理事会、評議員会で承認されしだい、4月1日より業務を開始します。

本部直通電話等が開設されて準備、新しいリーフレットや封筒作成中のため、5月末までは、法人本部への連絡は「えるで」(072-332-0987)にお願いいたします。

同時に、**後援会事務局**が「えるで」の3階に移転します。

法人本部の移転にともない、後援会事務局が「えるで」の3階会議室に移転します。今までよりも後援会の皆様に負担をかけることになるかもしれません。

井上会長曰く、「高齢者や障がい者の多い後援会会員にとって、エレベーターがある施設はありがたい。・・・後援会の総会もできるし。・・・」と良い面もあると・・・

4月に、高等学校新卒の職員(男・女)を採用します！！

「パオバブの家」開設以来、長らく絶えていた高等学校新卒者(18歳)をハローワークを通じて採用します。2名の採用者は高校在学から、法人の行事や活動に参加した経験を持ち、メンバーとの関係も良好な若者です。

職員採用は求人広告や縁故がほとんどで、研修や育成を重点にしなくとも、ある程度「仕事」ができる中途採用者でした。夢と希望に燃えて、障がい福祉の仕事に飛び込んでくれた二人を「どのように育てていくか？」

2021年度の最重要課題だとも考えます。メンバー・後援者様のみなさまとともに、日々の活動で「夢」と「希望」への確信できる機会を創造していきたいと思います。



「えるで」の**全照明**が**LED**に！！

1年前の理事会で検討されてきた課題が実現へ

3月15日の第89回理事会で、懸案であった「照明のLED化工事」について重要な議論及び決定がされることになっています。

蛍光灯の照度不足で、メンバーの個別作業効率の低下、特に、手元作業の照度不足が指摘され、LED化への要望が上がっていました。

1年前の理事会でも、工事の方向性が承認されていましたが、コロナ感染症の深刻化により、検討することも断念しました。今回の理事会では、工事方法と業者選定が諮られ、正式に決定される予定です。 <早ければ、5月上旬に完了>

3/22より、「自粛」を見直し、平常業務へ移行します！！

令和3年3月10日

3月22日 月曜日 以降のガイドサービスは平常通りです(制限解除)

いつもご利用ありがとうございます。

ご存知の通り、大阪府の緊急事態宣言は2月28日に解除されました。しかし新型コロナウイルス感染症対策に伴う大阪府の独自基準「大阪モデル」は、府民に3月21日までで不要不急の外出自粛を要請しています。

当事業所と致しましては、上記以降の外出制限は、利用者様の健康不安とストレスの増幅に繋がると懸念しており、またご家族の負担が継続することにも危惧しています。

よって、皆様のご不安と負担の軽減を図るべく、大阪モデルの外出自粛要請解除日の翌日、3月22日 月曜日から全面的にガイドサービスの制限を解除させていただきます。4月以降も平常通りのガイドサービスです。

引き続き、皆様には「出発前の体温測定」「マスク着用」「3密回避」等の感染症対策にご理解とご協力を頂き、「新しい生活様式」を参考にガイドサービスの提供を進めさせていただきます。利用者様にとって余暇活動は、人生を営む上でとても大切な時間です。微力ではありますが何卒宜しくお願い致します。

尚、感染症対策にご不安をお持ちの方は、移動手段や行先など個別にご相談させていただきます。

また、新型コロナウイルスの影響等で大幅なヘルパー不足が生じています。これまでご利用を控えられている方につきましては、ご希望に沿えない場合がございます。事業所都合で誠に申し訳ありませんが、ご理解の程宜しくお願い致します。

4月のサービス希望は 3月15日 月曜日 までにご連絡をお願い致します

社会福祉法人パオパブ福祉会 えるでヘルパーステーション

大阪府の緊急事態宣言は2月28日に解除されました。大阪府の独自基準である「大阪モデル」は、3月21日までの不要不急の外出自粛を要請しています。

本法人としては、20日に「みんなのWA」の開催した後、22日より「自粛」の内容を見直し、平常業も再開に向けて舵を切ります。

左記の通りヘルパーステーションの業務から制限を解除します。

これまでの自粛路線により、メンバーの健康不安とストレスの高まりが、生活全般に影響を与えてきました。

法人職員も1年間になる「コロナ感染対策」にも自信を持って臨めるようになっていきます。また、コロナ基金等の活用した対策の準備も整えてきたことも考慮して、移行を決定しました。

「送迎時の体温測定」「マスク着用」「三密回避」等の感染症対策を継続し、「法人関係施設への部外者立ち入り禁止」措置は、当分の間継続します。

3/11 東日本大震災から10年を迎えます

未曾有の大災害であった東日本大震災の発生から10年！！節目の年として、マスコミで多くの時間をかけて取り上げています。取り上げ方について様々な評価があるとは考えますが、命の大切さへ向き合う機会になることにつながることは確実です。コロナ感染症でも、熊本地震でも、障がいのある人の支援は最優先課題ではなく、忘れられた課題として取り上げられています。

私たちはこの状況を嘆くのではなく、常に、メンバーの求めている「つながり」を機会あるごとに主張し、実現を求めていく「強さ」を持たなければと思います。

「みんなのWA2021」で、**支援カンパ**を集めます！

みなさまのご協力を！！

後援会コーナー

今年度も、後援会への入会やボランティア活動にご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございました。
後援会の入会は、個人が402名、団体が8件でした。

今年度の決算報告と活動報告、並びに新年度後援会入会依頼、ボランティア募集を掲載します。

【決算報告】

○収入

・前年度繰越金	308,293円
・会費	1,286,000円
合計	1,594,293円

○支出

・振込み手数料等	26,125円
・通信費	8,724円
・事務費	2,249円
・募金等	141,000円
・ボランティア保険	8,000円

○支出2

・活動費、研修費	23,200円
・秋まつり交流会	33,965円
・ハロウィン	29,080円
・空き缶粉砕機(寄付)	242,000円
・後援会事務所鍵作成費	5,310円
・後援会事務所賃貸料	480,000円
合計	999,653円

○収入－支出(差引残高)

1,594,293円－999,653円＝**594,640円**

残額**594,640円**を次年度に繰り越します。

【活動報告・・・ボランティアの関わり】

今年度は、コロナ禍の中、バオバブとみんなのWAをはじめ、行事やつなぎ隊の活動が軒並み中止を余儀なくされました。

また、地域活動も中止となりました。来年度は、コロナの終息を願いつつ、コロナの状況を見極めながらであります。可能な限り、例年のような行事に参加、支援できればと考えています。ここに、今年度参加協力した主なボランティアの内容と参加人数を報告します。

第1えるで、第2えるでの活動への支援

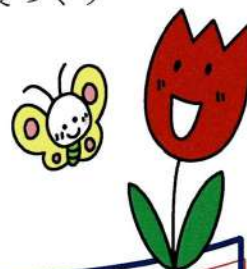
○第1えるで・・・それぞれ月1回の音楽、紙芝居で常時3名

○第2えるで・・・週、又は月に常時9名

食事介助、移動介助、歯ブラシ介助、リサイクル、音楽体操、紙芝居、河内音頭、パソコン等々

日中一時支援活動・行事への参加

- ・日中一時 1～2名の参加、季節に合ったものづくりや、昼食づくり
- 行事感染 拡大に気を付けながらの行事活動に参加しました。
- ・7/23 第1・第2えるで交流会パート① 3名
- ・9/19 第1・第2えるで交流会パート② 2名
- ・11/3 公園めぐり、映画鑑賞 4名
- ・11/21 プチ遠足 1名
- ・12/19 第1・第2えるでクリスマス会 7名



1日ボランティアさん、大募集！！

「バオバブとみんなのWA 2021」の開催に、
後援会も全力で支援します。

バオバブが大切にしてきた「地域」「つながり」の象徴的な行事である「バオバブまつり」それを継承してきた「みんなのWA」が規模を縮小して開催されます。

◇日時 2021年3月20日(土・祝)

◇場所 第2えるで駐車場、ホーム東風玄関前、ホーム空駐車場 他

◇内容 ①クッキー等の自主製品の販売

② 卵、野菜等の安売りコーナー

③ 簡単な体験コーナー

など

参加いただける方は、後援会事務局にご連絡をお願いします。

◇お願い！！

後援会活動は、皆様方の温かいご支援・ご協力で成り立っております。ぜひ
新年度（21年度）の後援会への入会をお願いします。

年会費は個人3,000円、団体10,000です。同封の振込用紙をお使
いください。

（振込用紙をお使いになる場合は、できるだけ、ＡＴＭをお願いします。）

◇2021年度も、様々な活動を復活・再生をめざします。

ボランティアさん、大募集！！

次の申込用紙で申し込みを

ボランティア活動 申し込みシート

※なまえ	※生年月日 年 月 日
※住 所 〒 —	
自宅／TEL	
携帯／TEL	
携帯アドレス	
PCアドレス	
※活動希望（希望に○を） ◎日常活動（月曜日～金曜日） ◎日中一時支援（隔週土曜日） ◎行事活動	
※希望時間帯（年月日 時間）	
活動の動機（なぜ、ボランティア活動をしてみようと思ったか）	
趣味、特技	
ボランティア活動の経験の有無 ある（ ） ない	
不安や質問があれば、お気軽にお書きください。	

※は、ボランティア活動保険に加入するために必ずご記入ください。

Fax 072-331-8200

3月20日(土:祝日) 10:30~13:30

バオバブ恒例!

卵の安売りです。

1パック 100円です!

整理券配布分の数量を準備しています。
指定された時間に売りに来て下さい。

(株) 日興鶏卵 協賛

バオバブとみんなのWA 2021

大阪農業大学校OB有志 による

朝どり・新鮮・安心の

南河内・野菜の販売

なすび トマト
いちご 葉もの野菜

受付兼

エコバック
受け渡し所

えるで自主製品コーナー

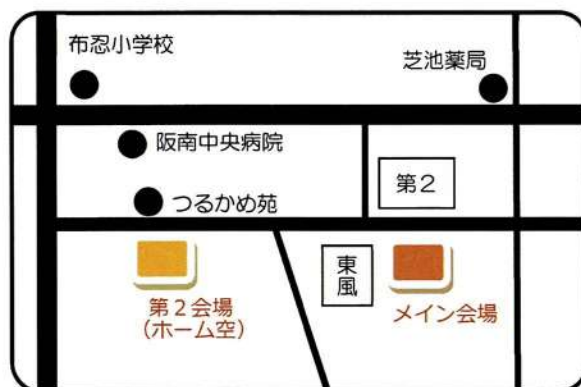
クッキー

レザークラフト

などなど

ごあいさつ
「地域」と「つながり」は、バオバブ福祉会の命です。
3月の「みんなのWA」はそのことを確認する行事として、絶えることなく取り組まれてきました。
今年も、コロナ感染症を予防しながら開催していきたいと思っています。規模を小さくし、密を避けながら、日頃お世話になっている皆様に、バオバブのメンバーが元気に活動している姿を発信できればと考えています。
毎年恒例の「卵・野菜の安売り」「クッキー等自主製品の販売」、記念品の配布も予定しています。整理券を事前に配布いたしますので、券に記入されている時間帯にご来場ください。

実行委員会 委員長 井上 雅彦



※今回、飲食コーナーはございません。



主催：バオバブとみんなのWA実行委員会

社会福祉法人バオバブ福祉会 バオバブ福祉会後援会 バオバブファミリー



○バオバブネットワーク通信VOL27をお届けします。
今号は「みんなのWA2021」の予告を中心に編集してる関係で、紙面が薄くなっています。

○ パコてはじまっ
した「こも多か
満席と思え続け
館を影と暮らこ
文化なさせたり感
市で激変前提は強
原。像を前カレス
松。想方をナ言スト
？・はリ「ロ態の急事へ
か・とあり「コ事へ
す・るの「急と
まをえ会「緊こ
いと社「も緊こ
てこを、い「の緊
えの況り、て「初する
覚」状がし最続
を会な広し線を持
日集変に。線を
1念大界・何路張
1記も世・肅緊
月年人全・も自と
2周一が・て。」す。
年5誰症をいただま
03染とにしんい
0ブ時感ここまく思
2オバのなるどり続と
2オその口いまでた

○ 返の「を」を、メーザ
り来りの、
繰以誇のボワ
を所の「向サ言
止開その傾にと
中も造一り命た
す。の行製バも懸っ
マイ泊にメきしな
いガ一めや引とえ
思全体たりたゆ法り
とよ全えがしわ。寄
だにた絶なまいすに
者一途つきるま化
護パてが「ていい変
保ルし路のせて思の
とへに販とさっと体
ん、みも」じがたや
さ止しも品会生なっ心
一中樂品會生なっ心
バの番製社をつかの。
ント一主「況にきらす。
メンが自ら状み大彼ま
、ベンのかいのと、い
がいさ等んな」つがて
の種一キさ得なもすい
た各バた一一をこはで続
い、ンレケバるいスリが
て来メま・ンざ「レも況
し以、り一メと関トつ状
張月らなキ、落機スたい
緊3がとツしぎ談のきな
番年な期ク止削相一て得
一昨し延中をバしを

○一基9りれメ
方金月接たン
でへにし地バ
、貴感て域一
緊重染下のが
張な症さ医活
し協者っ療動
た力をた機で
状の出地関き
況支し域の方
で援たの人々
私でと人々言
たしきに、そ
ちたに「んす
の。も、「基金
支えになったのは後援者の「声」とコロナ
えに「事実」がなかったよにいっも通
の「事」の提供がなクや消毒液をを調達し
支え「声」「行」に支えられ、法人の

○府民の予想通り、「緊急事態宣言」が解除されました。「経済が成り立たない・・。」「オリンピック開幕に・・。」と様々な理由付けにより、決定されました。今こそ、1年間で「自粛」をしながら、メンバーの地域生活を維持してきた経験を生かしながら、失ってきた「つながり」「誇り」を回復させる取り組みが必要です。

○そのスタートが、3月20日の「みんなのWA2021」の開催です。

1. バオバブが生きて、活動している「事実」を発信する場。
2. コロナ以降の「メンバーの地域生活」を展望する場。
3. 生産（労働）活動の「継承と発展」から、生産活動を発信する場。

三つのねらいを持って開催します。

新 参 加 者 の み な の さ ん と と も に 、 S N S や Z O O M を 活 用 し た 2 0 2 1 年 度 の 新 し い 参 加 の 方 法 を 模 索 し て い き た い と 考 え ま す 。

(文責 F)

KSKQ (バオブブねっとわーく通信VOL26) 2021年 3月 11日発行

定価 100円

編集人 社会福祉法人バオバブ福祉会 編集責任者 房本 晃

〒580-0044 松原市田井城6丁目3番地2

でんわ 072-332-0987 FAX 072-331-8200

発行人 関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階

でんわ & FAX 06-6763-3338